



こどもの病気の基礎知識ーウイルス性胃腸炎

毎年冬になると、乳幼児を中心にウイルスによる急性胃腸炎（別名「嘔吐下痢症」）が流行します。小児ではロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスによるものが多く、主に口を通して感染し、潜伏期間は2～3日です。症状としては、嘔吐が1～2日、その後下痢が3～5日続き、熱が出ることもあります。ロタウイルスの場合は嘔吐がひどく、すっぱい臭いの白っぽい下痢便が特徴的です。嘔吐や下痢により体内の水分と塩分が失われるので、脱水にならないようにすることが重要です。嘔吐や下痢はウイルスを体外に早く出そうという体の働きなので、無理に薬を使って止める必要はありませんが、症状が強いときは薬を投与したり、点滴などが必要になることもあります。

【家庭で気をつけることは・・・】

- 吐いた後は安静にして、しばらく何も口に入れずにお腹を休めましょう。吐き気が落ち着いたら、イオン飲料をひと口ずつ、休み休み飲ませてあげてください。
- お風呂は、熱などなく水分もしっかり摂取できていれば、さっと入るのは構いません。お尻がかぶれやすいので、お風呂に入れなくてもお尻だけは清潔にしてあげて下さい。
便などから感染するので、便やオムツを扱った後は、お子さんもお母さんもしっかり手を洗いましょう。
- 吐き気が何日もおさまらない時、元気がなく顔色が悪い時、唇が乾いてオシッコがあまり出ない時は早目に医療機関を受診してください。

またロタウイルスについては日本でもワクチンが導入されていますので、かかりつけの医師にご相談ください。



お知らせコーナー ～エコチルラジオが始まりました～

今年7月から、クロスFMの番組内でエコチルラジオの放送が始まりました。

毎週金曜日あさの10分間、福岡・北九州でエコチル調査に協力している産婦人科や小児科の医師・看護師・エコチルスタッフからの「エコチル調査に関するお話」や「こどもの健康に関するお話」、また、エコチル調査にご参加くださっているお母さまの声などを放送しています。みなさまぜひお聴きください。

エコチルBaby&Kids ～未来へのおくりもの～

毎週金曜日 あさ8:10～8:20

cross fm 「モーニングゲート」番組内（2014年2月末まで放送予定）

※放送はcross fmホームページからpodcastやUstreamでもお楽しみいただけます。



福岡78.7MHz 北九州77.0MHz

http://crossfm.co.jp/pc/w_index.php



調査に関するお問い合わせや、子育てに関するご相談は、エコチル調査コールセンターでお受けしております。

●エコチル調査コールセンター

0120-53-5252 9:00～21:00（フリーダイヤル・年中無休）

質問票に関する内容は、九州大学エコチル調査事務局までご連絡ください。

●九州大学エコチル調査事務局

092-642-6453 9:00～17:00（土日祝休）

引き続きエコチル調査へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



■発行

九州大学エコチル調査事務局内
すくえこ編集部

〒812-8582

福岡市東区馬出3-1-1

九州大学

コラボステーションⅡ-701

電話・FAX：(092)642-6453

ホームページ:

<http://eco.kyushu-u.ac.jp/>